



23年度一般会計予算 ②③

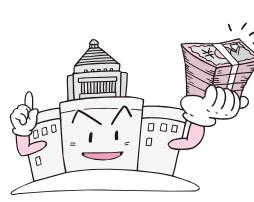
一般質問のやりとり報告 ④～⑫
議案審議 ⑬

元気いっぱいに登校する笑顔の新一年生



町のサイフのなかも

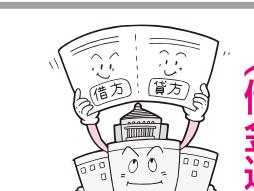


 <p>南関町</p> <p>(町民税)(町たばこ税) (固定資産税) (軽自動車税)(入湯税)</p> <p>10億2,241万円</p>	<p>町税</p> <p>(地方揮発油譲与税) (自動車重量譲与税)</p> <p>7,590万円</p>	<p>地方譲与税</p> <p>(利子割交付金)</p> <p>260万円</p>	<p>利子割交付金</p> <p>(配当割交付金)</p> <p>40万円</p>
 <p>(株式等譲渡所得割付金)</p> <p>20万円</p>	 <p>株式等譲渡所得割 付金</p> <p>(地方消費税交付金)</p> <p>1億16万円</p>	 <p>地方消費税 交付金</p> <p>(ゴルフ場利用税交付金)</p> <p>1,230万円</p>	 <p>自動車取得税 交付金</p> <p>(自動車取得税交付金)</p> <p>1,500万円</p>
 <p>地方特例交付金</p> <p>(地方特例交付金)</p> <p>1,600万円</p>	 <p>地方交付税</p> <p>(地方交付税)</p> <p>19億4,393万円</p>	 <p>交通安全対策特別 交付金</p> <p>(交通安全対策特別交付金)</p> <p>180万円</p>	 <p>分担金や負担金</p> <p>(分担金)(負担金)</p> <p>1億521万円</p>
 <p>使用料や手数料</p> <p>(使用料)(手数料)</p> <p>1億1,658万円</p>	 <p>国庫支出金</p> <p>(国庫負担金)(国庫補助金) (国庫委託金)</p> <p>3億3,391万円</p>	 <p>県支出金</p> <p>(県負担金)(県補助金) (県委託金)</p> <p>2億6,945万円</p>	 <p>財産収入</p> <p>(財産運用収入)</p> <p>357万円</p>
 <p>繰入金</p> <p>(基金繰入金)</p> <p>900万円</p>	 <p>繰越金</p> <p>22年度 → 23年度 1億円</p>	 <p>寄附金・諸収入</p> <p>(寄附金)(延滞金・加算金) (町預金利子)(雑入) (受託事業収入)</p> <p>1億1,462万円</p>	 <p>町債(借金)</p> <p>(町債)</p> <p>4億3,149万円</p>

● ● ● ● ● **歳入合計 46億7,601万円** ● ● ● ● ●

※各項目は端数整理千円未満切り捨てのため、合計は合っていません

23年度一般会計予算 総額46億7,601万円

 <p>(議会費) 9,896万円</p>	 <p>(総務管理費)(選挙費)(徴税費) (戸籍住民基本台帳費)(統計調査費)(監査委員費) 7億6,237万円</p>	 <p>(社会福祉費)(児童福祉費) 14億4,962万円</p>
 <p>(保健衛生費)(清掃費)(水道費) 3億9,970万円</p>	 <p>(農業費)(林業費) 3億4,338万円</p>	 <p>(商工費)(企業誘致対策費) 5,891万円</p>
 <p>(土木管理費)(河川費) (道路橋梁費)(住宅費)(下水道費) (浄化槽整備推進事業費) 4億3,847万円</p>	 <p>(消防費) 2億467万円</p>	 <p>(教育総務費)(小学校費)(中学校費) (社会教育費)(保健体育費) 3億6,088万円</p>
 <p>(農業土木施設災害)(公共土木施設災害) 0.2万円</p>	 <p>(公債費) 5億4,903万円</p>	 <p>(予備費) 997万円</p>

平成23年3月定例会を9日から16日までの8日間、開きました。

前年度(骨格予算)比9.7%増、主な事業は定住住宅取得等補助金1,150万円、小中学校給食費補助1,698万円、関所つ子誕生

祝金1,500万円、農村広場改修1億3,930万円など。

一般質問は9人が登壇し、32議案と各委員会の報告(陳情付託の件)について審議され、全議案が承認議決されました。

● ● ● ● ● 歳出合計 46億7,601万円 ● ● ● ● ●

特別会計予算

国民健康保険 14億4,241万円
公共下水道事業 2億0,913万円
簡易水道事業(関下新町) 405万円
介護保険事業 10億8,827万円

介護サービス事業 2億0,709万円
(合併)浄化槽整備推進 8,657万円
後期高齢者医療 1億2,491万円

産廃処分場 容認について問う

橋永



橋永芳政

9番議員

A

町長

県の意志
が変わらない
限り、新たな
展望が望め

は、建設に対
し、地元民の
感情、そして
南関町の将来
をも鑑み、町
長は所信表明
で、苦渋の決
断と方向性を
示された。南
関町の長とし
て、司として
この町をどう
導くのか。



Q 下水道認可
区域の見直
しを期待してい
る、区域外には
合併浄化槽を進
めるのが肝要、
申請者の心情を
察し、その都度、
速やかに工事を
認可し、申請者
が工事請負業者
の選択まで何故
できないのか。

A

建設課長

净化槽本体
の工事は町が実
施していく、設
置者より分担金
13万円をいただき
ます。

申請者が依頼した家庭
の配水設備業者と、町が
入札によって決定した淨
化槽の設置業者が異なる
ため、多少のトラブルも
聞いています。また、工期
の関係で、申し込みから
設置工事までの期間がか
かることも課題。

つの業者と契約ができる
随意契約の問題ですが、
地方自治法によれば、請
負金額が130万円以下
であるか、また緊急性の
必要があるか、また競争
入札の不利があるかなど
の規定があり、浄化槽設
置業者については、随意
契約ができないものと判
斷している。

Q 熊本県は建設に関し
て全ての安全性に対
する責任と、未来永劫に
わたり地元住民への安心・
安全を約束して
いる。町長

は、建設に対
し、地元民の
感情、そして
南関町の将来
をも鑑み、町
長は所信表明
で、苦渋の決
断と方向性を
示された。南
関町の長とし
て、司として
この町をどう
導くのか。

5年間考え抜いた結論と
して正式表明をした、し
かしながら、安全・安心
の保障がなされるといつ
時期に来たと判断をし、

第一に、地元の振興や活
性化を推進し、そのこと
が引いては南関町全体の
まちづくりにつながれば
と考えている。



島崎
英樹

6番議員

A 町長 各校区で一ヵ所一回限りの開催だつたが、場所と回数を増やした。これまで出

県の産廃建設 自分のこととして考えて

島崎

懇談会で意見聞き 今後に生かす

町長

Q 島崎英樹 県の公共関与型産業廃棄物最終処分場建設問題をはじめ、住民一人ひとりが自分のこととして考えるべき課題がたくさんある。協働のまちづくりを進めていくため、懇談会の開催を再三求めているが、どうなっているか。

A 町長 まちづくり懇談会として4月に14日間の日程で開催し、住んで良かったプロジェクト推進事業を中心説明したい。また産廃について意見をもらいたい。

Q これまでの懇談会との違いは何か。

席者も少なく、多くの方に（行政の動き）伝えたいみたいとの思いだ。意見は今後のまちづくりに生かす。

A まちづくり推進課長

定住や子育て支援など新しい事業がスタートするので、内容等をまとめたパンフレットを作成。情報共有が

なればと想る。

施設利用しやすい、利用したいと思われる町内公共施設アフリーア化の現状を尋ねる。

A まちづくり推進課長

県には当然説明するのか。

主體の県が出席して、施設のバリアフリー化は、大変重要と考えている。役場

施設のバリアフリー化は、明確責任がある。すべてに出席されると思う。

あすび 行政が持つている情

報と住民が報道等で得られる情報には大きな

格差がある。情報共有が

協働のまちづくりの第一歩だ。今回のまちづくり

①行政懇談会の開催

②利用しやすい、利用したいと思われる町内公共施設アフリーア化が一基



懇談会がそのきっかけになればと想る。

Q 町保健センター・地域包括支援センターには洋式トイレが一基（障がい者用で入り口はアコーディオンカーテン）しかない。どう考え

るか。

A 福祉課長 他の公共施設整備と合わせて、妊婦の方などが利用やすいよう計画的に進めていきたい。

あすび いわゆるバリアは、物質と心の二つがある。人権教育等を通して心のバリアを取り除くことも欠かせない。



A 建設課長 バリアフリー化を評価します。優先順位をつけて随時改善している。役場

車庫のトイレ改修（多目的トイレ設置）とエレベーターの設置、各施設の駐

車場に障害者がいるスペースを設けるなど取り組んでいる。

山口

地デジ放送の対応を問う

対策に全力を注ぐ

総務課長



山口純子
8番議員

A

総務課長 広報による

①七月二十四日に終了するアナログ放送に代わる地デジ放送対応について尋ねる。

①まだ対応できない人や、周知の対応に困難な人がいるのではないか。

②テレビ等で啓発は行っているが町独自でもきめ細やかな実施をして、放送が見られない人が出ないようにしてほしい。

③難視地が出ないような対策はやっているか、電気店のタイアップを講じてほしい。

シ配布を行い一月にはデジサポにより各校区における個別相談会を設置、周知に努めてきた。難視地区として指定され説明会を開催した地域はす



A

町長

民営化検討は、南関町老人福祉施設延寿荘運営検討委員会が設置要綱により平成二二年一〇月に制定一〇名の委員を選任、調査・審議を行いお願いしている。三回の委員会を開催し延寿荘の状況、審査を行う。山鹿市

ホーム福寿荘の視察研修を行った。高齢者虐待防へ民営化された養老老人ホームから社会福祉法人

止法が平成一八年四月に実施され熊本からの指導で高齢者福祉施設のサー

あさひ テレビ情報は日々娯楽、余暇時間の楽しみで緊急放送など命に関わる重要な設備だ。一世帯でも一時でも切れない

ビスの提供に関する苦情へ適正に対応するため苦情解決要綱を策定し、第三者委員会を設定し年四回程度開催し対応に努めている虐待等は発生したこともない。今後もさらに高齢者福祉サービス向上を促進し明るく楽しい施設を目指す。

べて周知できていると思う。今後はさらにきめ細かな周知を考え、具体的には民生委員、福祉委員、ホームヘルパーの協力で高齢世帯への問い合わせで考えることもある。町単独事業のチユーナー購入補助や国が行っているチューナー無償貸与事業により支援を行なう。既設共聴加入対策は現在長

山、宮尾、四ツ原一部、今、上長田の一部、細永南、

信設置支援センターが対策世帯を訪問し話し合を受信する事ができる設備、設置を行うため、地

デジ難視対策衛星放送受信などで時々いじめや虐待等の報道があるが町で

①延寿荘の民営化問題はどのよ

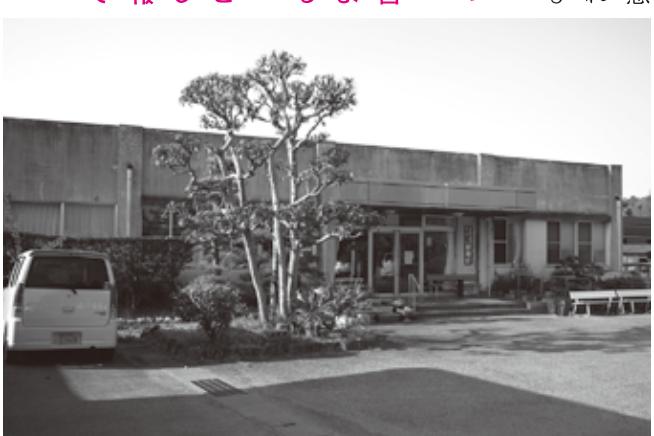
うに進んでいるか。

スチャンスで意において共同受信施設が欲的に活動されている事業者もおられる。

細永北、久重、下原地区にて尋ねる。

②新聞やテレビ

おられる。





4番議員

鶴地
仁

多世代同居奨励金の創設について 同居のメリット 鶴地

全国学力テスト、多世代世帯が多い秋田県が全国1位 教育長

Q 南関町の人口流出防止に有効な具体策はないかということで、一例として多世代同居奨励金を取り上げた。人口減少が続き、5年前に比べても5・6%減であり、核家族化がますます進行している。今後は流出防止対策をどうするか、超高齢社会の問題に真剣に取り組む必要がある。

A **町長** 親と子と孫、3世代が同居し、お互いが助け合いながら生活することでの、幼年期からの人格形成につながる重要な問題である。新たな制度の創設が必要なのかも含めて検討したい。

Q 人口問題について①南関町の転入・転出状況、その統計 ②人口減少傾向 ③町の出生率、未婚率 ④企業進出の推移 ⑤定

現在の独居高齢者は437人である。約10軒に1戸は独居高齢者の世帯ということになる。

Q 人口減少は町の将来を大きく左右する。多世代同居奨励金は高齢者だけの世帯、一人暮らしの高齢者には恩恵がないような印象を与えるが、間接的な支援策に繋がるとと思う。多世代同居の良いところは、まず子育て、子どもの教育に有效であること。育児ノイローゼは社会現象になりつつあり、親のストレスの蓄積防止。それから、南関の地の利を有效地に利用できるということ。相当の世帯で、田畠を所有されていると思うが、若夫婦が外に勤め、

住自立構想についての対応⑥多世代同居の世帯数、高齢者だけの世帯数について質問。（紙面の都合上、①～⑤の問答については、議事録をご覧ください。）

A 多世代同居の世帯、高齢者だけの世帯の数値については把握できていないが、町協の調べでは、本年3月

A **教育長** 核家族化に歴史をかけ、多世代同居世帯を奨励したいという

親が地産地消で米、野菜を作れば、安心・安全な食べ物も手に入るし、食育に繋がると思う。南関は、大牟田、荒尾、玉名、山鹿市のはほぼ中間にあり、生活圏としては田舎だが、恵まれている。都会に出て、大きな会社に入つても、今の状況ではリストラ、非正規労働の憂き目に遭う確立も多い。非正規労働の実態は、男性で18・6%、女性は53・3%。そんな実態で劳动の憂き目に遭う確立も高い。また、多くの家庭で子育てが行われるが、時間があるおじいちゃん、おばあちゃんの目が、子育てに役立つ。育てられていることへの尊敬と感謝で親孝行の心が育つと思う。

もう一つ注目すべきは、全国的に行われている全国学力テストの結果が、トップが東京、大阪でなく、多世代世帯が非常に多い秋田県か。

が連続して全国1位ということ。その秋田は、塾通いが少なく、小学生の塾通いは2割程度、中学生は3割程度である。学習面倒を感じただけ見てやつてもいいわけあるいはゲームとかテレビばかりということのないよう習得だけ見えてやつてもいいわけになっていく。秋田県の学

力テストの結果に、多世代世帯の効果が出ているということです。又、高齢者の方にとって認知症が進むのは、孤独化、引きこもりにより、勉強まで見てやれると、脳が活性化するという効果がある。

補助金でやつしていくとあります 限度があるので、何よりも教育だと思う。やはり

おじいちゃんの目が、子育てに役立つ。育てられていることへの尊敬と感謝で親孝行の心が育つと思う。

を育む教育、家庭の基本である親孝行、南関らしい田舎での教育を考えていけが非常に大事ではないか。自然の中遊び、帰農本能